



皆野中だより

3月号



令和7年3月1日発行 第12号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

【校 訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】「主体性」「社会性」「将来性」を培う生徒の育成

【めざす学校像のキーワード】心理的安全性とウェルビーイング

生徒数 1年76名 2年73名 3年85名 合計234名

幸せの青い鳥はあなたのそばに

校長 板倉 邦弘

待ちに待った春の訪れが、すぐそこまで来ていることが感じられる3月になりました。今年度も残すところあと1ヵ月となりました。保護者の皆様をはじめ地域の方々のご支援・ご協力により、無事に1年間が終えられる見込みです。改めて御礼申し上げます。

さて、今年度の学校だよりは本号で最終となります。今回は「幸福」について述べます。メーテルリンクの『青い鳥』（新潮文庫・堀口大學訳）では、妖女の娘を救うためにチルチルとミチルが青い鳥を探して旅をします。旅の途中『幸福の花園』を訪れた2人は、人の姿をした様々な『幸福』と出会います。

- ・子供たちの幸福 ・あなたのおうちの幸福 ・健康である幸福 ・清い空気の幸福
- ・親を愛する幸福 ・青空の幸福 ・森の幸福 ・昼間の幸福 ・春の幸福
- ・夕日の幸福 ・星の光り出すのを見る幸福 ・雨の日の幸福 ・冬の火の幸福
- ・無邪気な考えの幸福 ・露の中を裸足で駆ける幸福

また、人の形をした『大きな喜び』とも出会います。

- ・正義である喜び ・善良である喜び ・仕事を仕上げた喜び ・ものを考える喜び
- ・ものの分かる喜び ・美しいものを見る喜び ・ものを愛する喜び ・親の愛の喜び

中には『不幸』の洞穴に逃げ込んでいく『幸福』もあります。

- ・お金持ちである幸福 ・虚栄に満ち足りた幸福 ・渴かないのに飲む幸福
- ・ひもじくないのに食べる幸福 ・何も知らない幸福 ・ものの分からない幸福
- ・何もしない幸福 ・眠りすぎる幸福 ・はしゃぎきった幸福

チルチルは『幸福』たちから、「ぼくたちは壁がふくらみ、屋根が持ち上がるほど喜びをしらえているのに、あなたは見もしなければ聞きもしない」と言われます。また、最後に、探していた青い鳥も実は自分が飼っていた鳥だったということが分かります。幸せの青い鳥、すなわち万人があこがれる幸福は、遠い所を探しても無駄で、むしろそれぞれの日常生活の中にこそ探すべきだ、ということをお教えています。私が中学生の頃、「幸せを数えたら片手にさえ余る♪不幸せ数えたら両手でも足りない♪」という歌詞の歌が流行しました。でもそれは気付いていないだけで、自分の身近なところに目を向けてみると、又は見方を変えてみると、私達も小さな『幸福』をたくさん見つけることができるのではないのでしょうか。

3年生は3月14日の卒業式、1・2年生は26日の修了式で大きな節目を迎えます。1年間を振り返ってみると、辛いことや悲しいこと、悔しいこともあったかも知れませんが、身近なところや些細なことにも目を向けてみると、『幸福』だったと思えることもたくさんあったのではないのでしょうか。私はそう思うことにしています。幸せな令和6年度でした。